

都市再生整備計画

かめおかえききたしゅうへん ち く
亀岡駅北周辺地区(2期)
(第二回変更)

きょうと ふ かめおか し
京都府 亀岡市

令和2年8月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	京都府	市町村名	かめおかし 亀岡市	地区名	亀岡駅北周辺地区(2期)	面積	約17.2 ha								
計画期間	平成	30	年度	～	令和	4	年度	交付期間	平成	30	年度	～	令和	4	年度

目標
大目標：『水と緑が調和する賑わいともてなしの新たな亀岡の顔づくり』 目標1 亀岡の魅力を実感できる「行ってみたい」まちづくり 目標2 自然・景観の素晴らしさと駅前の利便性の高さをいかした「住みたい」まちづくり 目標3 賑わいやもてなしを支える「ふれあい・助け合い」のあるまちづくり
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 駅周辺のにぎわい創出として、本市の中心的な商業地であるJR亀岡駅前とその周辺地域では、都市拠点としての機能向上を図るとともに、歴史文化などの地域資源を活かすなど、魅力的な中心市街地の形成によるにぎわい創出を目指すこととしており、誰もが快適に移動できる公共交通体系の構築として、JR山陰本線とバス交通の相互間の連携強化などにより、公共交通ネットワークの充実を図り、鉄道駅周辺では、ターミナル機能の充実を図るとともに、自転車等駐車を活かしたサイクルアンドライド、バスアンドライドの推進などにより、交通接点としての機能強化を図る。 また、清らかな水と豊かな緑に包まれた自然環境と都市機能が調和した環境づくりを推進し、うるおいあるまちづくりを目指している。そのため、市街化区域内の低・未利用地や新たに市街地への土地利用転換を図る地区では、農業振興との調整や周辺の自然環境との調和に配慮しながら面的整備の導入や都市施設の適切な配置による計画的な市街地整備を促進する。
まちづくりの経緯及び現況
・当該地域は、亀岡市の中心駅に隣接するものの、治水等の要件が整わなかったため今日まで市街化の編入が見送られていたが、現在は、近年の治水対策により治水安全度が向上したことから、平成26年1月に市街化区域に編入され、平成26年6月に亀岡市亀岡駅北土地区画整理組合が設立され、令和3年度の事業完了を目指して組合施行による亀岡駅北土地区画整理事業が進められており、魅力ある都市空間の整備や駅前広場や幹線道路の整備が行われるため交通結節機能の強化及び周辺地域との連携と利便性の向上を図り、併せて生活道路や公園など身近な公共施設整備を地元まちづくり活動との連携のもと推進し、快適で魅力ある駅前市街地の創造を目指し整備が進められている。また、区域内においては、京都府立京都スタジアムが令和2年1月に完成し、同スタジアム内に設置されたNHK大河ドラマ館も開館し、にぎわいを見せている。
課題
・亀岡駅南側市街地と一体的な賑わいのある市街地の形成 ・交流の促進と定住人口の適正な確保 ・亀岡らしい眺望の保全と観光客をもてなす景観の充実
将来ビジョン(中長期)
亀岡市第4次総合計画(平成23年1月策定)に位置づけられたまちづくりの基本方針 目指すべき都市像：「水・緑・文化が織りなす笑顔と共生のまち かめおか」～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～ まちづくりの基本理念:市民の参画と協働の推進 安全・安心・ぬくもりの創出 豊かな自然と先人の知恵の継承・活用 ゾーン別地域振興構想:にぎわいと街のゾーン 中心市街地の活性化と快適に移動可能なゾーンの振興 ■振興方針 多世代がともに居住できる住宅地域の整備や鉄道駅を中心とした公共交通・都市機能の向上、企業の誘致・活性化等により、にぎわいのある中心市街地の活性化を図る。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方
都市機能誘導区域については、生活サービス施設の立地に焦点を当て、これらの施設の維持・誘導により、本紙の中心市街地の活性化によるにぎわいの創出と既成市街地の人口の維持を図るため、駅北側において高質で利便性の高い駅前広場や公園等の整備を行う。また、亀岡駅周辺エリアのまちづくりは、駅北側地区において、京都市立京都スタジアムを中心としたスポーツ交流を拠点としての機能を持った新しいまちづくりを進めるとともに、駅南側地区においても、本市の中心拠点としての機能を維持・発展させながら、商業・業務・文化等の都市機能の再構築を進め、駅北側と駅南側が一体となったにぎわいある中心市街地の形成を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方
新たな亀岡の顔としての魅力ある都市空間の整備や駅前広場や幹線道路の整備、また、交通結節機能の強化及び周辺地域との連携と利便性の向上を図り、併せて生活道路や公園などの身近な公共施設を整備し、快適で魅力ある駅前市街地の創造を図った整備を行う。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
亀岡駅利用者数(乗降客数)	千人/年	JR亀岡駅の一般・定期を合わせた年間乗降客数	JR亀岡駅利用者が近年減少傾向にある中で、社会資本整備総合交付金を活用した定住化の促進や都市基盤の整備によるにぎわいづくり、アクセス向上により、駅利用者の増加傾向への転換を目指す。	6,500	H29	6,600	R4
地区内人口	人	本計画区域内の居住人口	都市基盤の整備はもとより自然との共生、駅前の賑わいを活かしたまちづくりの推進による、快適な居住環境の整備により定住化を促進し、居住人口の適正な確保を目指す。	0	H29	250	R4
本地区でのまちづくり等に関する活動団体数	団体	本地区を含む区域でのまちづくり活動等を実施している団体数	現状での基盤整備等に関する活動に加え、総合的なまちづくりの実施により、景観形成や観光振興・もてなし・居住者等のコミュニティ活動等の創出・充実を目指す。	0	H29	2	R4
駅前にぎわい広場の年間利用者数	人	駅前にぎわい広場の年間利用者数	駅前にぎわい広場を整備することにより新たな賑わいの創出を図り、交流人口の増加を目指す。	0	H29	2500	R4
公園の年間利用者	人	公園の年間利用者数	公園を整備することにより新たな憩いとふれあいの場の創出を図り、交流人口の増加を目指す。	0	H29	2090	R4

計画区域の整備方針	
□目標1： 亀岡の魅力を実感できる「行ってみたい」まちづくり	方針に合致する主要な事業 (基幹事業) 【公園】 (都)亀岡駅北1号公園ほか整備 (提案事業) 【事業活用調査】 亀岡駅北周辺地区事業効果分析
□目標2： 自然・景観の素晴らしさと駅前の利便性の高さをいかした「住みたい」まちづくり ・駅直近の利便性とグレードの高い公共施設整備による質の高い市街地を形成すると共に、地区北側に広がる広大な農村の風景や希少生物アユモドキが生息する1級河川曽我谷川に面した地形、保津川遊船といった観光資源が隣接する立地特性を活かした、亀岡の新しい顔にふさわしい良好な生活環境の創出を図る。	(基幹事業) 【公園】 (都)亀岡駅北1号公園ほか整備 【地域生活基盤施設】 亀岡駅北駐輪場整備 【高質空間形成施設】 駅前広場修景整備 (提案事業) 【事業活用調査】 亀岡駅北周辺地区事業効果分析 防犯カメラ・案内標識設置
□目標3： 賑わいやもてなしを支える「ふれあい・助け合い」のあるまちづくり ・亀岡駅北周辺の基盤整備を契機に、その活用や維持管理方法の検討など、地域住民を主体としたまちづくり活動の支援を行う。	(基幹事業) 【高質空間形成施設】 駅前広場修景整備 (提案事業) 【事業活用調査】 亀岡駅北周辺地区事業効果分析
その他	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

114

255.7

